

基地政治の展開

チュール空軍基地とグリーンランド地域社会

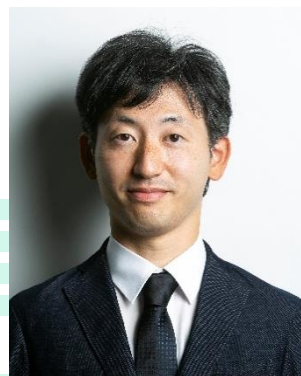
講師

高橋 美野梨

(北海学園大学准教授)

プロフィール

高橋 美野梨(たかはし みのり): 専門は国際関係学、グリーンランド・北極研究。著書・論文に『自己決定権をめぐる政治学』明石書店2013年、The Influence of Sub-state Actors on National Security, ed., Springer, 2019、Exploring Base Politics, eds., Routledge, 2021、「対話の基地政治——グリーンランド・チュール空軍基地の今日的位相」『基地問題の国際比較』明石書店2021年。



コメンテーター **大野 光明** (滋賀県立大学人間文化学部准教授)

プロフィール

大野 光明(おおの みつあき): 専門は歴史社会学、社会運動史研究。著書・論文に『メディアがひらく運動史』(共編著)新曜社2021年、『沖縄闘争の時代1960/70』人文書院2014年、『戦後史再考』(共編著)平凡社2014年、「反暴力の現在——ポスト冷戦・『新しい戦争』・ネオリベラリズムのなかの日本の反戦・平和運動」『戦争と社会』という問い』岩波書店2021年。

司会 **番匠 健一** (広島国際学院大学准教授)

2022

2/23 (水) (祝) **15:00~17:00**

Zoom によるオンライン開催 (参加は事前申込制※)

※「①氏名 ②所属 ③連絡先」を、peaceins@st.ritsumeit.ac.jpへお送りください。
ご記載のメールアドレスに、ご参加案内をお送りいたします。

参加申込締切日：2/22 (火) 15時まで

【Zoomご参加にあたっての注意】

- ※参加者ご本人とわかる表示名をご入力ください。
- ※参加者の方で画面のキャプチャー、録画・録音はしないでください。
- ※ご自身が発言する時以外は、マイクをミュート(消音)にしてください。

本研究会は、基地問題を語る際に生じる自衛隊と米軍の区分を批判的に捉え直し、地域社会の歴史性から基地問題を語る新しい回路を模索するプロジェクトです。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター 自衛隊基地の地域社会史プロジェクト
共催：JSPS科研費「地域社会の「軍事化」をめぐる歴史社会学」(19K02118)

【お問い合わせ】

立命館大学国際平和ミュージアム
平和教育研究センター
☎075-465-8151
✉peaceins@st.ritsumeit.ac.jp